



エグゼクティブブリーフ

# Infor OS 完全ガイド

INFOR OS

Infor® (インフォア) は、業界に特化したSaaSソリューションであるInfor CloudSuite™や、多数の戦略的買収、現行テクノロジーの有機的成長に注力することで、ここ10年間で飛躍的な成長を遂げました。その成功とイノベーションに不可欠な要素の1つが、基盤となるクラウドプラットフォームであるInfor OS (オペレーティング・サービス) です。Infor OSは、すべてのInfor CloudSuitesにわたって、さらにはサードパーティのソリューションにまで拡張して、水平的なテクノロジーサービスを提供します。Infor OSは、ビジネス上不可欠な機能から、企業に競合優位性をもたらす高度なハイテク機能に至るまで、さまざまなサービスを提供します。

Infor OSのサービス群は、密接に関連することで、互いに連鎖的なメリットをもたらします。これによって、お客様は独自にサービスを編成する必要がなく、迅速かつ簡単にイノベーションの恩恵を得ることができます。顧客数は10,000社を超えており、世界中で9つのAmazon Web Services (AWS) リージョンで利用可能で、その数はさらに増え続けています。米国東部地域だけでもクラウドテナント数は4,000を超え、お客様はダウンタイムなしに毎月アップデートを利用することができます。このように、Infor OSは市場で最も成功し、実証されたクラウドプラットフォームの1つです。

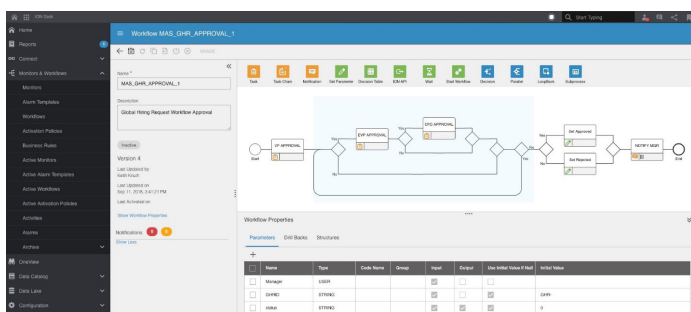
**Infor OSは、以下の分野でエンタープライズ・テクノロジーに価値を提供します。**

- ビジネス・プロセス・インテグレーション (Infor ION®およびAPI Gateway)
- セキュリティ (フェデレーションサービス)
- データ管理 (Infor Data Lake)
- エンタープライズ・ユーザー・エクスペリエンス
- クラウド・エクステンシビリティ (Infor Mongoose) \*
- 人工知能 (Infor Coleman®) \*
- ガバナンス・リスク・コンプライアンス (Infor GRC) \*

\*コアのInfor OSへの追加機能です

## ビジネス・プロセス・インテグレーション

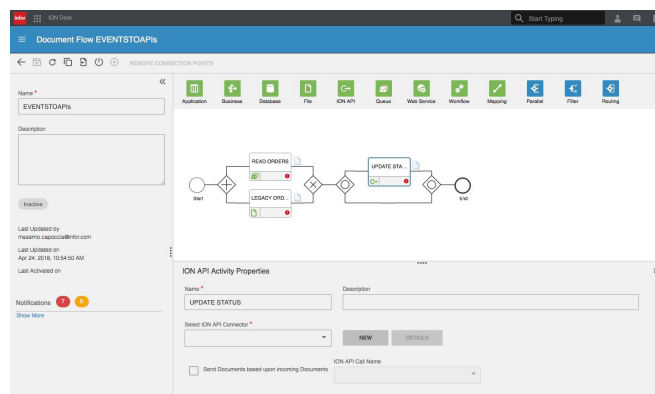
Infor ION (インテリジェント・オープン・ネットワーク) は、Infor OSプラットフォームの中で最も成熟したサービスであり、業界特化型ソリューションを構築するインフォアの統合戦略を代表しています。Infor IONは、150億件を超えるクラウドイベント、2億2,500万件のアクティブなワークフローを実行し、(その大半がカスタム/ハイブリッドアプリケーション用の) 75,000のアクティブな接続ポイントを備えており、拡張性を重視した設計となっています。IONがあれば、Infor製品とInfor以外のアプリケーションを簡単に接続し、利用可能なマッピングサービスを使って、メッセージやトランザクションを共通の非同期形式で共有することができます。また、ユーザーは、イベントの監視やワークフローを作成して、分散タスクや通知を生成し、さらにはワークフローを完全に自動化することもできます。ユーザー体験は、シチズン・デベロッパー向けに設計されており、システム管理者向けの使いやすいモデラーも備えています。また、Infor IONは、Infor Data Lakeにデータを取り込むためのモデリングサービスとしても使用され、フットプリント全体で一貫した統合とマッピング体験を維持しています。



ワークフローの完全自動化

またAPI Gatewayを介して同期統合パターンを利用することも可能です。API Gatewayは、現在のマルチテナント・フットプリント内で500億件を超えるAPIコールを処理しており、ION同様に成熟した実績のサービスです。Inforアプリケーションは、1つのカタログにAPIとドキュメンテーションを登録し、共通のセキュリティとポリシー管理で、エコシステム全体を適正に管理します。また、ION接続やワークフローと同様のモデリング手法を使って、複雑なオーケストレーションやAPIのチェーンを作成する高度な機能も用意しています。IONのモデリングサービスに登録されたAPIを呼び出せば、実世界における非同期と同期が混在する複雑なビジネスプロセスの統合要件を効果的に満たすことができます。

API Gatewayは、イノベーションの基盤的な役割を果たしており、エクステンシビリティ (拡張機能) や、お客様固有の革新的なユーザー体験の開発をクラウド上で実現するというインフォアのアプローチのバックボーンです。サードパーティのAPIやドキュメンテーションも、API Gatewayを介して登録、保護することが可能であり、その機能はInfor製品だけに限定されません。



分断したシステムの情報を結合

お客様は、オンプレミスとクラウドのハイブリッド環境を含むビジネス全体にわたって、すべての統合と通信リンクを安全かつ効率的に管理することができます。また、エンド・ツー・エンドの完全なデータリネージを提供し、開発者は完全なドキュメンテーションを利用することができます。Infor IONとAPI Gatewayは、Infoコミュニティにとって重要な技術であり、今後も発展と拡大を続けてゆきます。

## セキュリティ (フェデレーションサービス)

Infor OSは、フェデレーションサービスを通して世界クラスのセキュリティサービスを提供し、ユーザーやAPI、などの認証、認可、規制を行います。SAML 2.0標準の認証で、お客様が選択する (サードパーティの) フェデレーテッドIDプロバイダーとInfor CloudSuiteを統合することができます。現在、Infor OSのオンプレミス版には、Infor STS (セキュリティ・トークン・サービス) がバンドルされており、オンプレミスのお客様は、Microsoft AD FSの他にもさまざまなIDプロバイダーを、オンプレミスのInforアプリケーションと統合することができます。Infor OSのフェデレーションサービスを使えば、アプリケーション間のシングルサインオンの生成と処理、アクセスに関連するユーザー・ロールと属性の管理、全ユーザーのロール管理の許可、さらには本番環境で200万人を超えるカレントユーザーの一貫したモバイルアプリを可能するための編成を行うことができます。

次のようなフェデレーテッドIDプロバイダーを利用可能です：

フェデレーテッドIDプロバイダー	オンプレミス (INFOR STS有)	シングルテナント のクラウド	マルチテナント のクラウド
Ping One	○	○	○
Okta	○	○	○
Azure AD	○	○	○
OneLogin	○	○	○
Centrify	○	○	○
Microsoft AD FS	○	○	○
Ping Federate	○	○	○
CA SSO (formerly SiteMinder)	○	○	○
Oracle Access Manager (OAM)	○	×	○
ForgeRock OpenAM	○	○	○
NetIQ Access Manager	○	○	○
GLUU Identity Server	○	○	○
WSO2 Identity Server	○	○	○

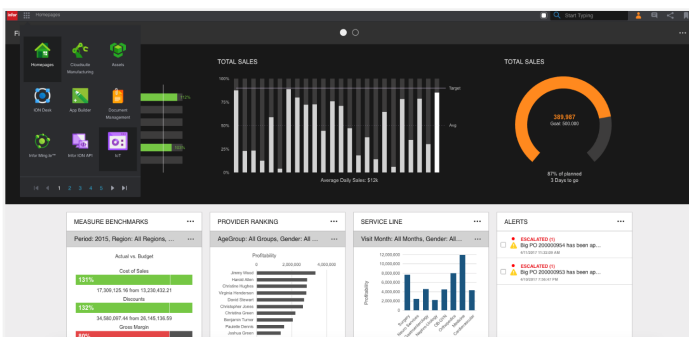
## データ管理 (データレイク)

Infor OSは、Infor Data Lakeを使って企業のビッグデータを一貫して効率的に管理し、コスト効果的かつ多目的にデータを利用することで、高度なアナリティクスやAIによるイノベーションを促進します。Inforアプリケーションは、IONサービスを介してデータをData Lakeに自動複製します。また、ストリーミングAPIを使って、サードパーティのデータをData Lakeに取り込むことも可能です。Data Lakeはデータカタログ機能を備えており、メタデータやデータ形式を登録してデータの整合性を維持します。他にも、システム管理者の画面からクエリ・エディタを使って、あるいはAPIを介してデータをクエリするサービスも提供します。ユーザーは、よく使われるクエリや複雑なクエリを保存して、APIとして公開することができます。あるいは、従来のETL (抽出・変換・ロード) シナリオで利用できるユーティリティ機能を使って、BIやアナリティクス関連のワークロードなどの様々なユースケース用にデータを転送することができます。Data Lakeは、広範なアプリケーションにデータリポジトリを提供し、データ分析や機械学習、高度なコンプライアンスを実現するという点で、イノベーション

における重要な役割を果たします。Infor OSの主要コンポーネントの1つであるData Lakeは、米国HIPAA (医療保険の携行と責任に関する法律) およびGDPR (一般データ保護規則) への準拠が認定されています。

## エンタープライズ・ユーザー・エクスペリエンス

Infor OSは、日常的に使用するユーザーのソフトウェア体験に独自の視点を持っています。たとえシステムのフットプリント全体が非常に多様で複雑であっても、Infor OSが提供するツールを使えば、すべての役割、グループ、ユーザーに対して、一貫して安全でパーソナライズされたユーザー体験を提供することができます。ユーザーは、システムの複雑さに煩わされずに、簡素化された画面から各自の役割やタスクに必要なことだけに集中することができます。すべてのコンポーネントは、フェデレーションサービスやION、API Gatewayインタラクションのコアコンポーネントに直接結び付いているため、組織は、従業員が本当に必要な時に、必要なものだけを見て、各自の役割や、好み、特性などに適した方法で利用するように徹底することができます。



処理内容に応じたデータ、アナリティクス、ドキュメントで意思決定を向上

Infor OSのポータルには、ユーザープロフィールやモバイルアプリ、お気に入りなどにアクセスできる馴染みのあるナビゲーションやクイックリンクが用意されています。このポータルのビジネス上重要な機能の1つが、インコンテキストなアプリケーション・トレイです。Infor OSは、ユーザーの処理内容を常に認識し、それに応じた情報をコアのアプリケーションの横にウィジェット形式で表示します。

ウィジェットに表示される情報は、ユーザーがシステム内を移動し、操作を実行することで更新されます。現在進行中の作業に関連するタスクやアラート、関連文書、さらにはカスタムアプリを表示させることで、ユーザーは関連作業をすばやく同時に実行することができます。

また、Infor OSのアプリケーションとして、ホームページを利用することができます。ホームページは、ユーザーの役割に応じてパーソナライズされており、価値の高い関連アクティビティをウィジェット形式で表示します。すべてのアプリケーションからの情報とアクティビティを結合しますので、ユーザーは優先度の高いアクティビティを1カ所で実行することができます。もはや複雑なシステムを覚える必要はなくなり、組織はユーザーが業務に専念できるような独自の方法で、従業員をトレーニングできるようになります。また、ユーザーは複数のページやウィジェットを利用することが可能であり、これらのページはユーザー属性をもとに動的に変更可能で、組織は、特定の役割やユーザーにページを自動的にパブリッシュすることができます。ホームページは、組織とユーザーの両方が、複雑なシステムに縛られることなく、非常に柔軟かつパーソナライズされた方法で業務活動に関する情報を活用できる手段となります。

ビジネスプロセスのドキュメントを保護、管理、コンテキスト化

Infor OSのもう1つの業務上重要な機能がドキュメント管理です。ドキュメント管理は、Infor OSのインコンテキスト機能に適したフォーマットで、ビジネス文書を一元的に保管します。ドキュメントには、(標準やカスタム)の様々な属性がタグ付けされており、処理内容に応じてドキュメントの関連性を決めることができます。ユーザーがドキュメントを「関連情報」というコンテキスト・アプリケーションにドラッグ・アンド・ドロップすると、処理内容(イベントのコンテキスト)に応じた適切な属性が自動付与されて、ドキュメント管理に保存されます。

また、ドキュメント管理は出力サービスも提供しており、ドキュメントを設計し、システム・アクティビティに応じて自動的に作成・配布することが可能です。さらに、追加機能として、OCR(光学式文字認識)やドキュメントの自動読み込み機能を利用することも可能です。メインのポータルヘッダーにある受信トレイには、すべてのタスク、アラート、通知がまとめて表示されます。すべてのアクティビティは、監視やワークフローなどの結果としてIONデスクで構成されたディストリビューションに関連付けられています。あるいは、いくつかのアクティビティについては、セキュリティサービス付きでユーザーに通知されます。ユーザーは、受信トレイ内のタスクやアクティビティを処理し、関連アプリケーションに直接ドリルバックすることができます。これらのビューは、ホームページのウィジェットやインコンテキストなアプリとしても提供され、モバイル環境でも表示させて処理を実行することが可能です。

また、Infor OSに付属のモバイルアプリケーションであるInfor Goを使えば、ホームページや受信トレイ、アプリケーション・ビューなどを、1つのネイティブなモバイルアプリケーションで利用することができます。Infor GOをInfor OSのモバイルポータルとして利用する際は、共通のセキュリティとSSOが適用されます。

## クラウド・エクステンシビリティ (Infor Mongoose)

InforMongooseと呼ばれるInforOSのエクステンシビリティ・プラットフォームを使えば、デスクトップやタブレット、スマートフォン用に最適化された独自のアプリケーションやモバイルアプリ、エクステンション(拡張機能)を構築することができます。本プラットフォームは、すべてのInfor OSサービスと完全に統合されており、ユーザーは、クラウド上でエクステンションを開発し、実装することができます。

お客様は、堅牢なエンタープライズ機能をニーズに応じて迅速に開発することができます。Mongooseを使えば、直感的なコンシューマグレードのWebインターフェースの開発や、生産性を高めるための画面開発などの最適な体験を最小限のコーディングだけで作成することができます。低コストの統合開発プラットフォームであるMongooseで開発した高機能なアプリケーションは、自動的にアップグレード可能であり、オンプレミスまたはクラウドに実装することができます。

### 主な機能

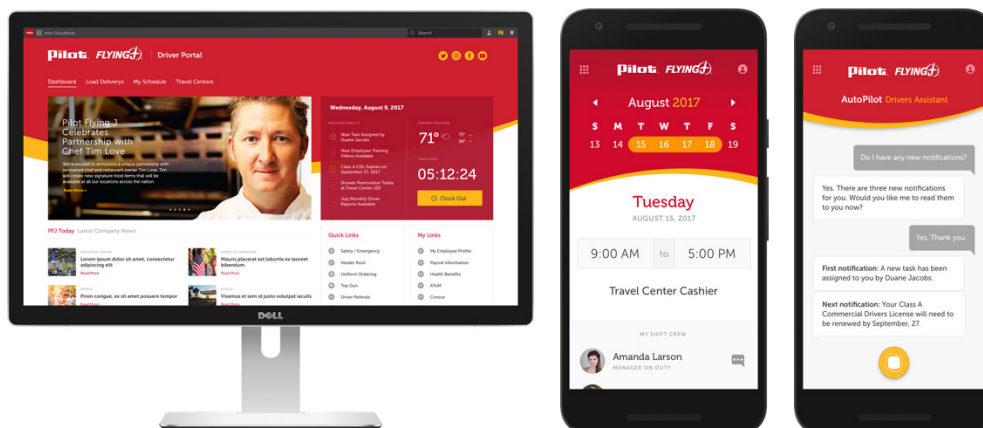
- 高機能なコンシューマグレードの画面開発
- 画面の合成
- エンタープライズポータルの開発
- モバイル対応のレスポンスアプリ開発
- 独立したワークフローエンジン:高度暗号化標準 (AES)
- 完全なユーザー制御とセキュリティ
- ブラウザベースの開発と実装
- 完全なテーマ設定エンジン
- 多言語開発およびアプリケーション機能開発
- レポートエンジン
- ノーコード/ローコード/フルコードのオプション

## エンタープライズ・エコシステムにアプリケーションを追加

ビジネスプロセスのフローの合理化や、貴重なデータの体系的な収集など、Mongooseを使えば、シンプルなWebアプリケーションから複雑なエンタープライズレベルのシステムに至るまで、あらゆるアプリケーションを迅速に開発することができます。シングルサインオンの完全なユーザーセキュリティで、エンタープライズクラスの機能をあらかじめ搭載したMongooseは、ブラウザやモバイルインターフェースをリアルタイムにレンダリングします。すべてのデバイスタイプでビジネスオブジェクトやロジックを共有できるため、モバイル版やタブレット版のアプリを簡単かつ迅速、手間をかけずに開発することができます。

### 自動アップグレード

複雑なソースコードやプログラミング言語の知識がなくても、Mongooseを使えば、コアのエンタープライズソリューションを強化・拡張することができます。ユーザーが開発した拡張機能やアドオン機能は、ベースのアプリケーションとは別のメタデータに格納されるため、アプリケーションを新しいバージョンにアップグレードすれば、それらも自動的にアップグレードされます。クラウド環境において、Mongooseのツールセットが毎月アップデートされ、完全な後方互換性があるということは、特に重要なことです。つまり、お客様は常に最新のアプリケーションを利用し、新しいテクノロジーが利用可能になった時点で、すぐに取り入れることができるということです。



## 人工知能 (Infor Coleman)

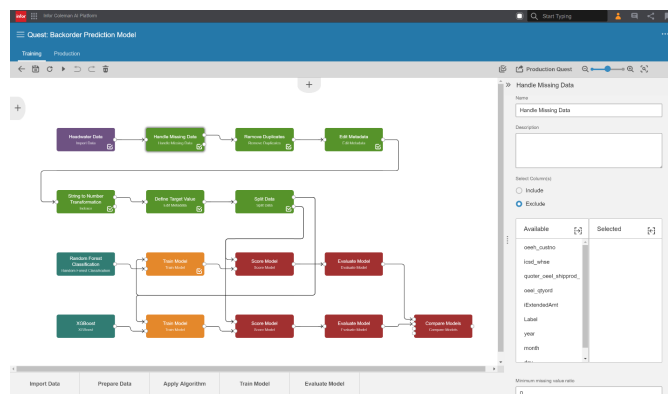
Infor Colemanは、インフォアのAI製品スイートを代表する製品であり、Infor OSプラットフォームと緊密に連携する自然言語処理 (NLP) と機械学習ソリューションから成ります。Infor Colemanは、タスクの実行を革新的な方法で支援し、次善のアクションをレコメンドするだけでなく、潜在的な問題を予測し、それに応じてシステムを調整します。物理学者であり数学者でもあるキャサリン・コールマン・ジョンソン (Katherine Coleman Johnson) にちなんで名付けられたColemanは、エンタープライズAIを大規模に、実践的かつ迅速に実装できるという飛躍的な進歩を象徴しています。

### Infor Coleman Digital Assistant

Infor Coleman Digital Assistantは、Infor Coleman製品群で最初にリリースされた製品であり、Infor OSプラットフォーム (さらにはInfor CloudSuite) への対話型インターフェースを提供します。API Gatewayのカスタムスキルの構築が可能であり、音声による質疑応答やタスクの実行、その他のNLPベースの拡張ユースケースに対応します。Colemanは、Digital Assistantの対話型UXとNLPをデジタルアシスタントとして使用し、ユーザーが入力あるいは話した言葉を (業務分野や業界に関する深い専門知識をベースに) システムが理解できるインプットに変換します。技術的な知識やトレーニングは一切必要ありません。インフォアは、あらかじめサンプルの「スキル」 (例えば、CloudSuite Financialsなら50以上) を用意していますが、開発スキルのないユーザーでも、カスタムコーディングなしに、新しいスキルを迅速に構築することができます。

### Infor Coleman AIプラットフォーム

Infor Coleman AI プラットフォームは、エンタープライズ向けの機械学習モデルやユースケースを作成、管理、保護、実装するために必要なすべてのツールを用意しています。反復性を重視した設計で、複数のプロジェクトを迅速に作成することができます。つまり、お客様は、ROI (投資収益率) の高いソリューションに投資することになります。データセットは、Infor Data Lakeドキュメントのオブジェクトから直接抽出します。インフォアは、機械学習にまつわる業界共通の問題や機会をテンプレートで提供します。機械学習モデルは、安全なREST APIとしてAPI Gatewayに自動的にデプロイされて簡単にアクセスできるため、機械学習のレコメンドや結果を、Infor IONやカスタムアプリケーションなどに迅速かつ簡単に組み込めるようになります。



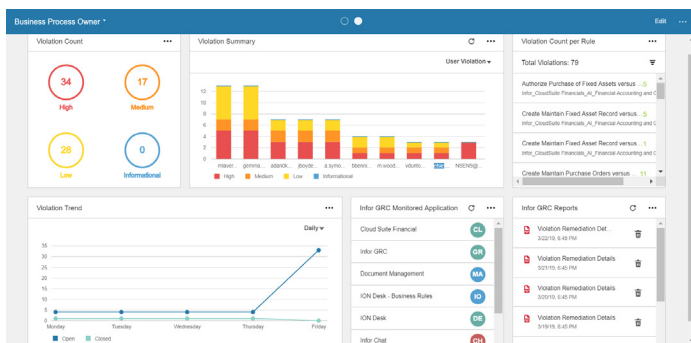
Coleman Questsはアクティビティ・ブロックを連鎖して構築。データフローをシンプルかつ容易に追跡可能。

### 主な機能

- インフォアのデータやサードパーティのデータを含む、すべての機械学習プロジェクトの単一スペース
- 機械学習のインサイトを既存のビジネスロジックやカスタムアプリケーションとシームレスに統合。CloudSuiteをさらにインテリジェントにすることが可能
- カスタムデータをインフォアの業界固有のテンプレートと組み合わせることで、新しいプロジェクトをこれまで以上に迅速に立ち上げ、プロジェクトを月単位ではなく週単位で実装
- ビジュアルなドラッグ&ドロップのインターフェースで、より多くの業務ユーザーがAIの力を活用

### ガバナンス・リスク・コンプライアンス (Infor GRC)

大企業や公共部門の組織は、財務諸表や機密情報の安全性、完全性、正確性を証明するように、規制当局や監査機関、株主、取引先からより厳しく監視されます。こうした要件に効果的に対応するためには、組織のITシステムを統制し、誰がアクセス可能で、どのようなトランザクションを実行できるのかといった制御を、自動的に識別、分析して、継続的に監視できるようなシステムが必要です。



コンプライアンス管理

Infor GRC (ガバナンス・リスクリスク・コンプライアンス) は、重要な業務上のリスクを継続的に検出し、コンプライアンス要件を順守し、さらに注意とリソースの割り当てが必要な懸念事項を客観的に優先付けすることで、組織を監視・保護するための次世代ソリューションです。本ソフトウェアは、ユーザーの役割を分析することで、職務分掌の違反だけでなく、転記されたトランザクションやマスターデータの潜在的な問題をプロアクティブに検出します。これによって、組織はビジネス全体の多様なリスクを一元的かつ能動的に管理し、業務の有効性と効率性を改善し、リスクを軽減することができます。

Infor GRCは、Docker対応のマイクロサービスのセットとして設計されたマルチテナントのソリューションです。また、Elastic Map ReduceやSparkなどのAWSテクノロジーを活用して、膨大な量のビジネスプロセスデータを検証します。本ソリューションはInfor OSで構築され、統合されており、サードパーティのアプリケーションとの統合が必要な組織にとって有効です。Infor GRCは、次のような幅広い機能を提供します。

## 財務上の不正行為および業績の管理

組織は、調達不正や資産の横領、贈収賄、汚職などの不正行為に陥りやすいものです。インフォアは、従業員の不正な精算や企業ポリシー違反を検出するための制御（ルール）をあらかじめ用意しています。これらの制御は、簡単に変更可能で、新しいルールを直感的なユーザーインターフェースで作成することができます。Infor GRCは、二重支払の監視、過払いの検出、売掛金回転日数 (DSO) の問題の報告、不良債権・回収の検出、契約条件が適用されていない場合の警告など、業務の無駄を省いて生産性を高められるように支援します。

## 監査管理

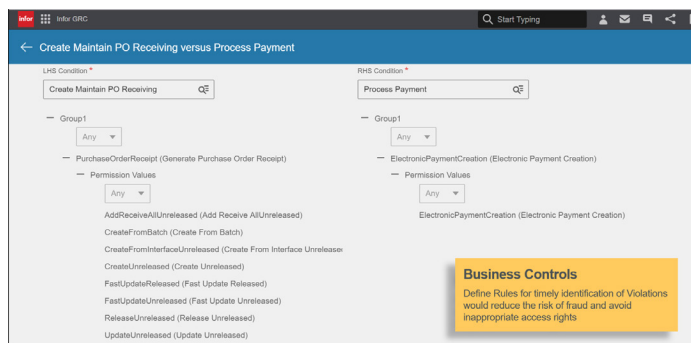
内部監査と外部監査には、コストと時間がかかります。Infor GRCの自動制御機能を使えば、企業ポリシーを確実に守るように徹底し、内部監査による業務の中断を減らすことができます。違反の是正はクローズドループで行われ、内部監査と外部監査の両方の報告書を簡単に作成することができます。役割ベースのダッシュボードを利用すれば、監査上の問題を完全に把握することができます。

## コンプライアンス管理

国や地方自治体の法律や規制は、業界標準や企業ポリシーと同様に、多数のコンプライアンスの問題を招きます。コンプライアンス要件は常に変化し、それが混乱とパニックの要因になります。Infor GRCは、コンプライアンス管理を自動化し、SOX法（サーベインス・オクスレー法）や職務分掌、OFAC（米国財務省外国資産管理局）などのコンプライアンス要件への対応を可能にします。コンプライアンス・リストは今後も増え続けることが予想されますが、インフォアは常に最新のリスクとコンプライアンスに基づいたGRCソリューションの充実に努めています。

## 職務分掌による不正防止

Infor GRCでは、職務分掌と機密性の高いアクセスのリスクを検知するための制御を定義することができます。こうしたリスクは、各業務の責任者が是正し、監査用に記録されます。また、スーパーユーザー（システム管理に関するすべての権限を持つアカウント所有者）をGRCシステムから除外することで、誤った違反検知を回避することができます。



## 自動ユーザープロビジョニングとwhat-ifシミュレーション

重要なシステムへのアクセスを許可することの重大さを考えると、ユーザーのセキュリティ、アクセス、認証を担当するIT部門は、多大なプレッシャーに晒されています。強力なユーザープロビジョニング機能と効率的な承認プロセスを提供するInfor GRCを使えば、CIO (最高情報責任者) はアクセス制御の負担を業務部門に移管することができます。またIT部門は、What-ifシミュレーションを使って、アクセス変更の影響を分析してレビューすることができます。

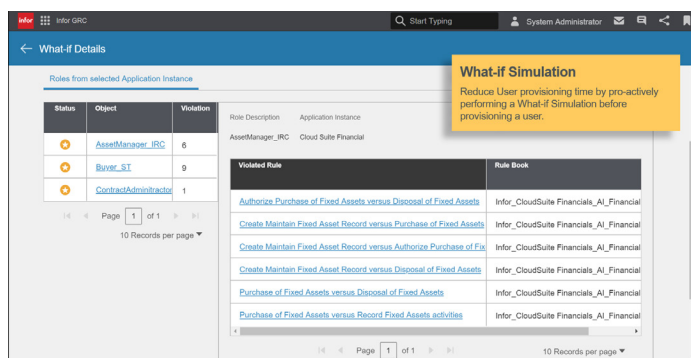
### 緊急アクセス

業務シナリオによっては、ユーザーが特定の機密領域に一定期間アクセスする必要があるかもしれません。GRCの緊急アクセス機能を使えば、事前に承認された一定数のロールに、1時間から最大8時間までの設定された時間のみ、ユーザーに権限を与えることができます。設定時間を過ぎると、GRCによって自動的に権限が取り消されます。すべてのアクティビティの監査証跡は記録されます。

### 定期的な認証レビュー

ユーザープロビジョニングだけでなく、職務分掌や機密アクセスの監視は、どのような組織においても継続的な管理が必要なプロセスです。また、業務要件が変われば、個々の従業員に割り当てられたアクセス権や承認も変更しなければなりません。チームが変わるたびに、従業員が現在の役職に適した資産とシステムにのみアクセス権限を持っているかどうかを追跡するのは困難です。GRCの認証プロセスは、組織が定期的にレビューして、システム内の不正を検出する上で役立ちます。

このように、Infor OSIは、サービスをシームレスに接続するクラウド・オペレーティング・プラットフォームとなり、ビジネスのエコシステム全体を革新する堅牢なテクノロジーフレームワークを提供します。



自動ユーザープロビジョニングとWhat-ifシミュレーション

## 卓越したビジネスの基盤

実証されたマルチドメインのエンタープライズ・テクノロジー・プラットフォームを提供する統合インフラストラクチャは、卓越したビジネスを実現するための「統合および自動化」、「データファブリック」、「セキュリティおよびコンプライアンス」の基盤となります。

また、統一されたユーザー体験は、業務プロセスの複雑性を体系的に緩和し、ユーザーが必要な時に必要な方法で、関連する業務情報にシームレスにアクセスすることを可能にすることで、お客様の成功を推進します。エンタープライズエンタープライズ・ワークスペースやモビリティ、アプリケーション開発などの機能を直感的に利用できるユーザー中心の体験は、企業の競争力強化と差別化を実現するためのエンド・ツー・エンドなフレームワークとなります。

最後に、Infor OSIは、新しい価値や体験を引き出すことが可能なエンタープライズグレードのAIプラットフォームを提供することで、組織全体の目標達成にとって不可欠な価値を提供します。音声によるユーザー体験の追求、スマートオートメーションの強化、企業データから予測的なインサイトを発掘することなど、Infor OSIは、あらゆるニーズをシンプルなオペレーションで実現できるように支援します。

[詳しくはこちら](#) →



インフォアは、業界特化型のビジネスアプリケーションをクラウドで提供しています。17,000人の社員が、170か国以上で67,000以上のお客様を支援しています。インフォアのソフトウェアは、お客様の業務の進化に向けたデザインとなっています。